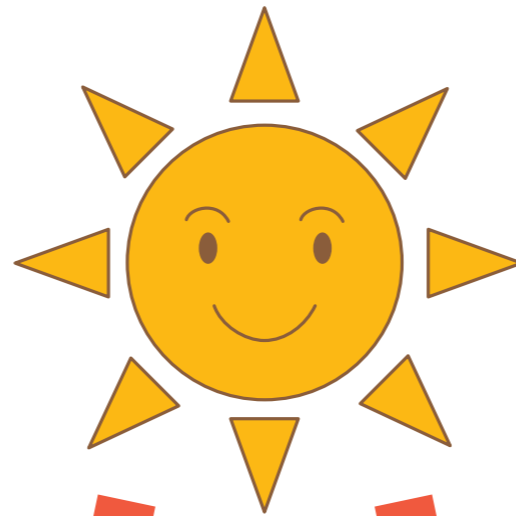


ち きゅう おん たん か
地球温暖化が起こる仕組み

地球は、太陽の光で温められています。温められた地面から出る熱は、宇宙に放出されますが、一部は二酸化炭素などの温室効果ガスに吸収され、再び地表に戻されます。この働きによって地表は動植物にとって住みやすい温度に保たれています。

しかし、大気中の温室効果ガスの量が多くなると、熱が宇宙に放出されにくくなり、地球の温度がだんだん上がってしまいます。この状態を**地球温暖化**といいます。

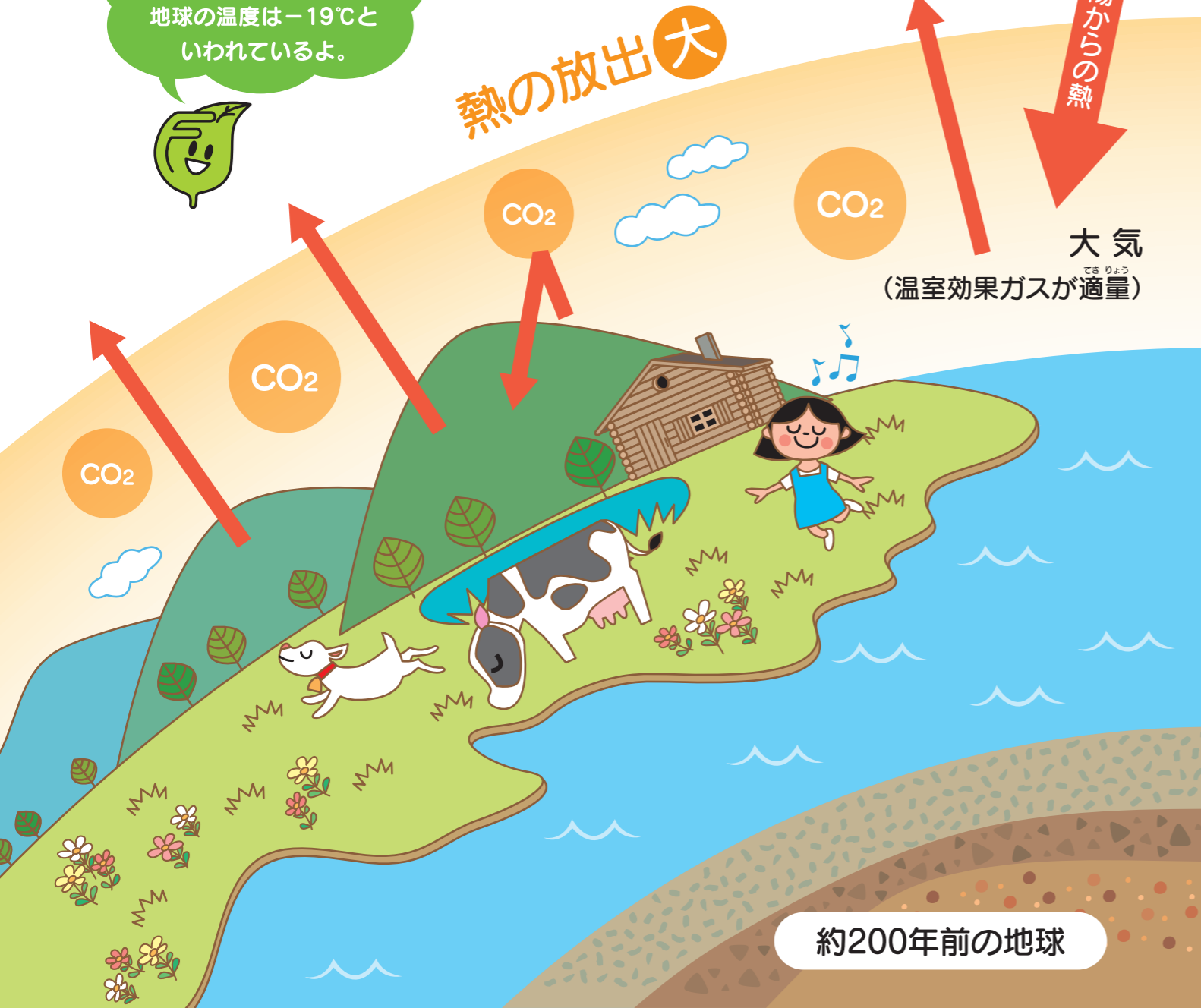


もし、地球に温室効果ガスがなかったら、地球の温度は-19℃といわれているよ。



熱の放出 **大**

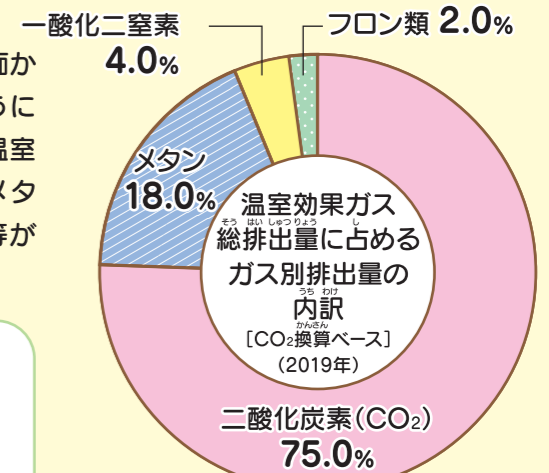
太陽からの熱
大気
(温室効果ガスが適量)



約200年前の地球

温室効果ガスとは

温室効果ガスは、地球の表面から出る熱を吸収し温室のように暖かく保つガスのことです。温室効果ガスには、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロン類等が含まれます。



出典: 全国地球温暖化防止活動センター

熱の放出 **小**

太陽からの熱
大気
(温室効果ガスが多い)



現在の地球